



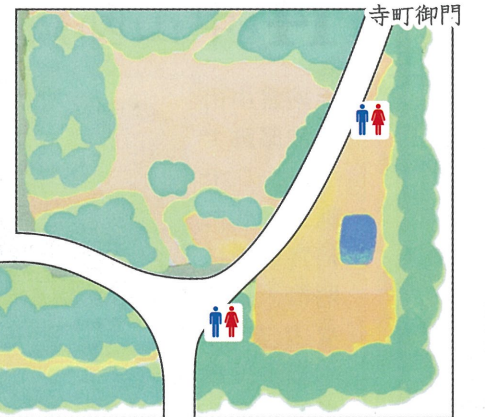
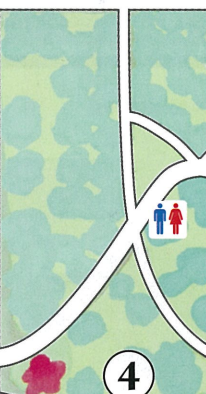
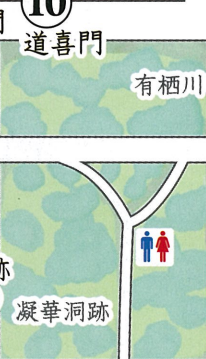
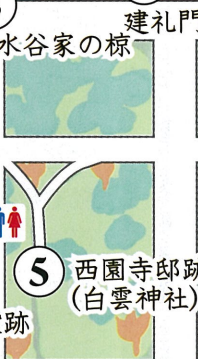
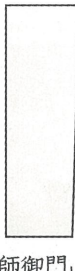
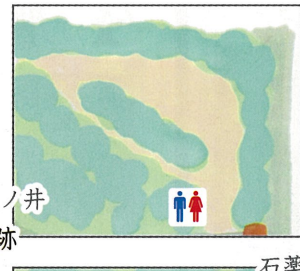
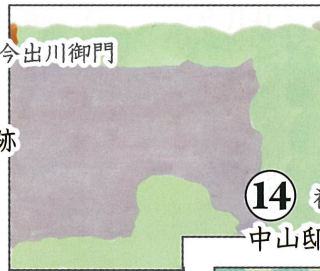
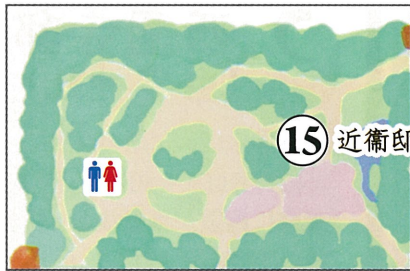
地下鉄今出川駅

今出川通



烏丸通

寺町通



地下鉄丸太町駅
市バス烏丸丸太町

間之町口

堺町御門

丸太町通

京都御苑歴史散策マップ

3 場

1 閑院宮邸跡

宝永7年(1710)に東山天皇の皇子、直仁親王なおひとを初代として創設されました。創建時の建物は、天明8年(1788)の大火で焼失、その後再建され明治10年に東京に移るまで使用されていました。公家屋敷の佇まいが残る貴重な遺構です。



2 九條邸跡(拾翠亭)



茶室として残っている建物は、拾翠亭と呼ばれ、九條家屋敷の貴重な遺構の一つです。九條池を中心とした美しい庭園は、四季折々の風情を醸しだしてくれます。池の中にある厳島神社は、九條家の邸内社として祀られていました。

御苑周り、高麗門で囲われていた。周辺の緑から緑の

10 道喜門

道喜とは、人の名前で川端道喜のことで、粽で有名なお店です。道喜は、毎朝「お朝物」として、お餅を天皇に献上致しました。この献上は300年以上も続き、建礼門の東に穴門が設けられ、「道喜門」と名付けられました。穴門13ヶ所内、この門のみに名称が付けられています。



9 建礼門



桧皮葺、切妻造り四脚門で最も格式の高い門です。天皇陛下や国賓が来られた時に開門されます。平清盛の娘は建礼門院と呼ばれました。当時は女院に内裏や大内裏の門名をつける習慣がありました。葵祭や時代祭の行列もこの門前の広場から出発します。



紫宸殿 (写真提供: 宮内庁京都事務所)

8 清水谷家

この榎むくの木は、清水谷家のもので、樹齢約300年、幹す。「禁門の変」の時、長



11 学習院跡

学習院は、弘化4年(1847)仁孝天皇の遺志により、公家の子弟の教育機関としてつくられました。

明治3年に廃止されますが、その後東京に同名の大学が設立され、当時の扁額がそのまま継承されました。



12 橋本家跡



橋本家は皇女和宮の生家です。江戸末期に当主橋本実麗さねらみの妹、経子つねこが宮中に入り、誕生したのが、和宮親子内親王です。幕末の公武合体政策により徳川将軍家茂に嫁ぎました。

13 猿ヶ辻

御所の東北は鬼門の為、角、御幣を持った木彫りの猿かれています。文久3年進派であった公卿姉小路公知がこの辺で暗殺されました。時に25才の若さでした。



町御門



門の中で唯一南側にある大きな幕末には長州藩が警備をして文久3年(1863)8月18日にこの「七卿落ち」と呼ばれる政変が葵祭や時代祭の行列はこの門を通過します。

4 鷹司邸跡



近衛家から分かれた五摂家の一つで、家名は鷹司室町にあった邸宅に因んでいます。「禁門の変」で、長州藩が同邸に陣取り、九條邸の幕府側と激しい戦いが行われました。この鷹司邸と長州藩邸が火元になり、ドン・ドン焼けと呼ばれる大火になりました。

5 西園寺邸跡(白雲神社)

西園寺家は、琵琶の宗家で、古くより邸内に弁財天を祀る妙音堂がありました。東京に屋敷が移転後も、白雲神社として屋敷の跡地に残されました。明治時代、西園寺公望は二度の首相を務めた政治家です。私塾立命館は、後に立命館大学としてその名を継承されます。



の棕

公卿屋敷にあったり約4mの古木で軍の総督であった来島又兵衛が、薩摩軍の攻撃により討死、長州軍は総崩れとなりました。

7 蛤御門

この門は「新在家御門」と呼ばれ、開かずの門でした。江戸時代の大火で初めて開かれたので、焼けて口開く蛤、から「蛤御門」と言われるようになりました。元治元年(1864)ここで、長州藩と会津・薩摩藩等とが激しく戦う「禁門の変」が勃発しました。



6 枇杷殿跡



枇杷殿は平安時代に藤原長良が建てた邸宅です。この屋敷に、一条天皇がお住まいの頃は、女流文学の最盛期で、紫式部や清少納言が活躍していた時でもありました。

14 中山邸跡

大納言中山忠能邸跡です。ここで誕生された祐宮は後に明治天皇となります。木造平屋建て21坪程の産屋が現在も残されています。又、敷地内には、明治天皇の幼名に因んだ「祐井」が在ります。



15 近衛邸跡

近衛家は五摂家の一つであり、近衛大路にあったので近衛と名付けられました。この屋敷の糸桜は江戸時代から有名で、御苑の中でもいち早く春のおどずれを告げてくれます。幕末、薩摩藩の篤姫も江戸に嫁ぐ前にこの屋敷を訪れています。

